

令和7年8月22日

「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」  
第104回（通算第183回）定例会 会議録

◆日時：令和7年8月19日（火） PM7：05～8：30  
◆場所：田辺市医師会館 3F 大講堂  
◆出席者：20名 + オンライン5名

1. 「田辺圏域医療と介護の連携を進める会」定例会について

【19：05～20：30】

19：05～ 開 会

19：05～19：10 情報提供  
・ 保険医協会主催講演会  
・ 田辺市医師会主催第3回市民公開講座「大腸がん」  
・ 作業療法士会主催研修「住民主体の介護予防」

19：10～19：30 わたしの仕事を教えてください  
服薬支援ロボットの紹介  
みなべ町池田薬局 西山薬剤師

19：30～19：50 提 起  
「災害対応 ～津波警報発令を振り返って～」  
提起：田辺圏域医療と介護の連携を進める会  
井田 範子

19：50～20：30 意見交換・発表

20：30 閉 会

## 【提起内容】

### カムチャッカ半島沖地震に伴う津波警報発令

令和7年7月30日（水）

（日本時間）8：25 ロシア カムチャツカ半島沖を震源とするM8.8の地震発生

08：37 津波注意報発令

09：40 津波警報発令

18：30 津波注意報発令（津波警報解除）

令和7年7月31日（木）

10：54 津波予報（津波注意報解除）

### 意見交換テーマ

①津波警報発令後、あなたは（事業所）は何をしましたか？

- ・警報を聞いた時の気持ち
- ・どういう行動をしたか
- ・事業所のスタッフや利用者の安否確認はどうしたか
- ・どこかへ避難したのか、した場合はどこへ？

②今後準備が必要なこと

- ・事業所の自然災害 BCP はどうだったか
- ・「こころ」・「ひと」・「もの」の準備

## 【意見交換】

### ○当日どうだったか

#### <安否確認>

- ・海沿いの人の安否確認（電話・訪問）
- ・全員は難しかったので心配な人をメインに確認した
- ・職員の安否確認

#### <実際の支援>

- ・避難所へ行くためのサポートの実施
- ・キャンセルになったサービスの代替手段の手配  
→危ないところへ行ってもらった判断がよかったのかと振り返っている。

#### <避難・避難行動>

- ・診療所や津波被害のないところは通常業務だった
- ・初めに注意報が発令されたので大丈夫と思っていたが、警報が発令後慌てて動き出した感じ
- ・公共交通機関は発令時、一時は止まったが、直後は動いていた。その後、運行中止になったことで、避難場所に移ってきた人もいた
- ・海の近くにいたのですこしパニックになった
- ・車で避難が多かった。歩行で避難できる経路を普段から考えていたほうがよかった
- ・気候や季節によって避難の方法が違うと思う
- ・避難所の中での優先順位  
→おそらく若い人が先にきている。そのあと高齢者が来た時に、収容人員の問題もあるの  
で、出ていってもらおうのかという判断はどうなっているのか気になる
- ・人工呼吸器を使用している人から病院に相談があり、一時的に入院対応した
- ・訪問系サービスで、どこがいけてどこがダメかわかりにくい。  
→ふだんから安全な場所を確認しておく必要がある。
- ・電力があつたので垂直避難できてよかった。災害の状況によって違うと思う。
- ・一時避難場所から避難所への誘導はどうあるべきか

## OBCP

- ・大きい被害（地震→津波）の想定ばかりだったので今回のようなものはあまり想定していなかった
- ・避難場所に位置付けていたところが開いていなかった。どの被害で開くのか確認しておく必要もあった
- ・独居の人の避難手段について再度確認が必要だった。
- ・組織の判断というより現場おのおのの判断になってしまうのが課題。一人ひとりに頼ってしまった

## ○今後どうすればいいのか

- ・やはり「自分」を優先する
- ・契約の時などに災害時の優先度や動きについて説明をしておく
- ・備蓄→予算や保存年限、ローリングストック、場所の工夫。車などに保存しておく。
- ・避難の判断をどうするかもっと考えていく必要がある
- ・「今を大事にたのしく生きる」

## 【次回の定例会】

→以下の日程で実施する。

**日時**：令和7年9月16日（火） 午後7時～

**場所**：田辺市医師会館 3F 大講堂

**内容**：講師を白浜はまゆう病院の医師に依頼中